

(2) 総合評価シート（様式）

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和5年度）

施設名	吹田市立千里山竹園児童センター	所管部室課名	児童部子育て政策室
所在地	吹田市千里山竹園2丁目1番5号	設置年月日	平成21年10月

1 施設の概要

(1)設置目的	次代を担う子どもたちが、「遊び」を通じて創造性や社会性、協調性を身につけ豊かな人間関係を育むことを目的とする。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (構造) 鉄筋コンクリート造2階建 (敷地面積) 969.07㎡ (建築面積) 343.12㎡ (床面積) 1階 319.32㎡ 2階 206.20㎡	【開館日等】 (開館日) 毎日開館 (5/3～5/5及び年末年始を除く) (開館時間) 4～9月 10時～18時 10～3月 9時30分～17時30分	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	吹田市立千里山竹園児童センター管理運営協議会					
(2)指定期間	令和2年4月1日　～　令和7年3月31日　（5年間）					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内 容	1　子どもの健全育成及び地域の子育て家庭への支援に関する業務 2　施設の管理運営に関する業務 3　施設の維持管理に関する業務 4　経営管理に関する業務 5　その他					
(5)指定管理者 の収支			令和4年度		令和5年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収 入	指定管理料 又は利用料金　（円）	26,080,000	26,080,000	25,900,000	25,900,000
		自主事業　（円）	0	0	0	0
		その他　（円）	1,050	4,200	363,000	0
	支 出	管理経費　（円）	26,081,050	24,122,277	26,263,000	23,547,432
		自主事業　（円）	0	0	0	0
		その他　（円）	0	0	0	0
	収支差額　（円）		0	1,961,923	0	2,352,568

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和4年度		令和5年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	メイン行事参加者数 (人)	300	396	1,500	1,814
2	センターまつり参加者数 (人)	260	265	320	420
3	幼児教室参加者数 (人)	660	886	750	864
4	月間・週間行事参加者数 (人)	2,160	3,378	3,500	4,400
5	年間来館者数 (人)	12,000	13,756	22,000	24,145
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	・利用者アンケートの実施（実施期間：令和5年10月1日～令和5年10月20日/回答者数：児童向け91名/大人向け99名） ・常設の意見箱、こども会議の実施による意見の把握
(2)把握結果	・施設の設備に関する要望はなかった（令和4年度） ・幼児教室やイベント等、利用者満足度はかなり高いものであった ・図書に関しての要望があった
(3)結果を受けての対応状況	・図書に関する要望を参考に、新規図書の購入を行う。 ・子どもたちの意見・要望については、具体的に何を望んでいるのか「こども会議」や日頃の活動の中で、更にきめ細やかなヒアリングを行っていく。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	1 管理運営の方針については、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2 平等利用の確保については、利用者の公平性が確保されていた。 3 個人情報の保護については、制定している「個人情報取扱規程」及び「特定個人情報等取扱規程」や吹田市個人情報保護条例を遵守することにより個人情報の保護の徹底に努めていた。
(2)施設の効用の発揮	新型コロナウイルス感染症対策による利用制限等が緩和された中で、利用者のニーズに合致した行事イベントや自主事業の実施に努めていた。また、サービス向上のために地域住民等の協力を得ながら運営をしていることが、高い利用者満足度に繋がっていた。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	館長、主任児童厚生員、児童厚生員を配置し、安定した管理運営体制を構築しており、事務処理を適切に行うための事務員を配置していることが、適正な経理事務に繋がっている。また、各役職における職責として、適切な役割分担がされていた。運営委員や多くの地域のボランティアの協力を得ることで、児童センターの運営に積極的に取り組んでいる。
(4)施設の管理経費の縮減	自主事業や行事イベントの実施において、管理運営協議会役員をはじめ、多くの地域のボランティアの協力により管理経費が縮減がされていた。また、地域に居住する者を職員として採用することにより、通勤費が不要となり、人件費が縮減されていた。また、館内の蛍光灯の間引き、印刷物の裏紙利用などの経費削減に継続して取り組んでいた。
(5)地域人材の活用	保育士や教員の有資格者が必要な児童厚生員や事務処理を適切に行うための事務員について、地域に居住する方を重点的に採用しており、地域の人材活用を図っている。

(6)総合評価	管理運営体制、管理運営内容共に基本協定書や募集要項、事業計画書等に基づいて実施していることを確認し、改善を要する指摘事項は無い。また、新型コロナウイルス感染症対策による利用制限等が緩和された中で、地域の協力を得ながら多種多様な行事イベント等を実施していることやこども会議を開催して、利用者の意見を丁寧に聞いて運営していることも高い利用者満足度に繋がっている。施設の管理運営に係る経営状況が健全であると確認できたことから、今後において、安定した管理運営が可能であると判断する。
---------	---